

(仮称)新・板橋区スマートシティ推進方針素案の概要

第1章 方針の概要

1 背景と目的

- 平成29年3月に「板橋区スマートシティ推進方針」を策定し、様々な分野を包括した取組を推進。
- 社会情勢の変化や、これまでの取組の成果と課題を踏まえ、「板橋区らしいスマートシティ」のさらなる発展と深化をめざすとともに、関連する取組を効果的かつ実践的に推進していくため、令和8年度を始期とする「(仮称)新・板橋区スマートシティ推進方針」を策定する。

2 「板橋区らしいスマートシティ」の基本的視点

- ① 地域資源の最大活用**
板橋区の特長、強みとなる地域資源を最大限に活かす。
- ② 区民生活の質の向上**
先端技術の導入にとどまらず、区民生活の質の向上と持続的発展を図る。
- ③ 環境と共生する持続可能なまちづくり**
人と自然の調和を大切に、次世代へ引き継げるまちづくりの視点で進める。

3 位置づけと期間

位置づけ：
「板橋区らしいスマートシティ」を推進するうえで、区民・企業・地域団体など多様な主体と共有する将来像・方向性を示し、分野横断的な取組の共通基盤とする。
期間：概ね10年(令和8年度～17年度)

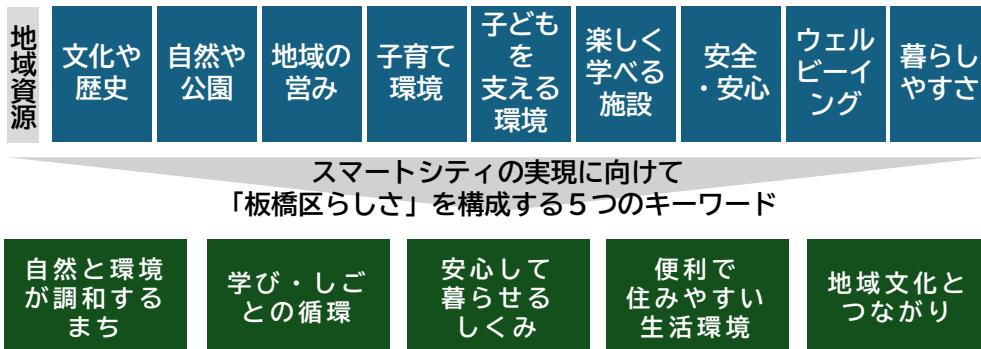
第2章 現状と地域資源を踏まえた課題整理

1 分析の枠組み

区の現状、各種調査結果から得られた区民・事業者のニーズ、地域資源及び前方針の成果と課題を総合的に踏まえ、これらの関係性を多角的に分析することで、板橋区がスマートシティ推進において直面する本質的な課題を抽出し、本方針がめざす将来像及び方向性の論点を整理。

2 板橋区を取り巻く現状と地域資源

- 現状把握
①アンケート調査 ②事業者ヒアリング ③ウェルビーイング指標 ④前方針の振り返り
- 板橋区の地域資源とポテンシャル
区がこれまで培ってきた多様な地域資源と、それらがスマートシティ推進におけるポテンシャルとしてどのように活用できるかを整理。



3 現状と地域資源の分析

スマートシティを推進する上で、内部環境の「強み」「弱み」、外部環境の「機会」「脅威」を総合的に分析。

| | 強み | 弱み |
|----|---|---|
| 機会 | 板橋区固有の地域資源を活かし、都市再生とデジタル・脱炭素化の機会を捉え、安全・安心で持続可能な都市基盤を構築する。 | ウェルビーイング指標のギャップを克服するため、デジタル技術の進化を機会と捉え、QOL向上に資する施策展開を進める。 |
| 脅威 | 地域の課題解決志向と資源を強みに、人口減少などの脅威に対し、多様な主体との協働・共創で、持続可能で活力あるまちを実現する。 | 部門間の連携不足や社会変化への対応遅れを回避するため、推進体制の強化とデータ利活用基盤の整備を進める。 |
| | 多様な主体との協働・共創 | 推進体制の強化 |

4 スマートシティ推進における課題

- ① 持続可能な都市基盤の構築**
脱炭素社会への移行を見据え、IoTやデータ活用による施設管理の効率化・エネルギー最適化を図り、環境と技術が調和した持続可能な都市基盤への転換が必要
- ② QOLの向上**
スマートシティの具体的な効果を実感できる施策の展開と、誰もがデジタル技術の恩恵を享受できる環境づくりが重要
- ③ 多様な主体との協働・共創**
地域の課題解決に向けた協働を効果的に進めるため、参画しやすい環境整備と、継続的・包括的な連携体制の構築が必要
- ④ 推進体制の強化**
部門横断的な推進体制の強化とデータ利活用基盤を整備し、施策の継続性・拡張性の確保と区民・事業者の利便性向上を図ることが必要

第3章 将来像と方向性

1 将来像

課題を価値に変え、未来をひらく

～デジタル技術等と官民連携で実現する、環境と共生する持続可能なまちづくり～

2 将来像を実現する3つの方向性

